

2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月11日

東

上場会社名 Chatwork株式会社
 コード番号 4448

上場取引所

URL <https://go.chatwork.com/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0683

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	3,312	43.1	△474	—	△471	—	△445	—
2021年12月期第3四半期	2,315	—	△340	—	△342	—	△341	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △472百万円(—%) 2021年12月期第3四半期 △344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	△11.26	—
2021年12月期第3四半期	△9.22	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	5,135	3,073	58.8
2021年12月期	5,168	3,402	64.3

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 3,022百万円 2021年12月期 3,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,552	35.0	△821	—	△816	—	△782	—	△19.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	39,755,063株	2021年12月期	39,425,840株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	2,153株	2021年12月期	877株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	39,605,489株	2021年12月期3Q	37,042,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、広告・マーケティング活動の強化、既存サービスの機能強化に積極的に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,312,984千円(前年同四半期比43.1%増)、営業損失474,852千円(前年同四半期比39.3%増)、経常損失471,311千円(前年同四半期比37.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純損失445,933千円(前年同四半期比30.5%増)となりました。なお、先行投資として、採用が順調に進んでいることや、広告・マーケティング活動への投資により、営業利益以下の各段階利益がマイナスとなっております。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

(Chatworkセグメント)

Chatworkセグメントについては、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は3,135,309千円(前年同四半期比46.4%増)、セグメント損失は527,530千円(前年同四半期比34.8%増)となりました。

なお、当セグメントが当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当セグメントの維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当セグメントにおける費用として計上しております。

(セキュリティセグメント)

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は177,675千円(前年同四半期比2.2%増)、セグメント利益は52,677千円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

なお、当セグメントのセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatworkセグメントにて計上していることから、当セグメントの売上高より当セグメントに要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて32,236千円減少し、5,135,797千円となりました。これは主に、現金及び預金が444,736千円減少、ソフトウェア仮勘定が241,972千円増加、前払費用が126,643千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて297,488千円増加し、2,062,560千円となりました。これは主に、短期借入金が300,000千円増加、契約負債が225,272千円増加、未払金が175,118千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて329,725千円減少し、3,073,237千円となりました。これは主に、資本金が71,318千円増加、資本剰余金が71,318千円増加、利益剰余金が445,933千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は58.8%(前連結会計年度末は64.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期は、Chatwork課金ID数の伸長、パーソナルプランのビジネスプランへの移行等の施策により、売上高において前回開示した業績予想の上限近くで着地する見込みであります。また利益については、施策の選別を行った結果、人件費と業務委託費が抑えられ営業赤字は前回開示したレンジよりも縮小する見込みであります。

売上高につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ全体売上高は前連結会計年度比+35.0%、Chatworkセグメントの売上高は+37.4%を見通しております。

業績見通しの詳細は下記の通りでございます。

売上高	4,552百万円 (前期比) +35.0%
Chatworkセグメント	4,333百万円 (前期比) +37.4%
売上総利益	3,117百万円 (前期比) +31.1%
営業利益	△821百万円 (前期比) —
経常利益	△816百万円 (前期比) —
親会社株主に帰属する当期純利益	△782百万円 (前期比) —

(注)上記の事業予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,200,053	2,755,316
売掛金	312,115	295,520
前払費用	446,392	573,035
その他	75,541	122,477
貸倒引当金	△411	△411
流動資産合計	4,033,692	3,745,939
固定資産		
有形固定資産	45,414	34,496
無形固定資産		
のれん	318,894	293,718
ソフトウェア仮勘定	290,233	532,206
その他	297,641	282,393
無形固定資産合計	906,769	1,108,318
投資その他の資産	182,158	247,042
固定資産合計	1,134,342	1,389,857
資産合計	5,168,034	5,135,797
負債の部		
流動負債		
未払金	447,048	271,930
未払費用	93,002	65,293
未払法人税等	23,276	21,116
契約負債	—	874,534
前受金	649,262	—
賞与引当金	—	10,800
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	102,000	102,000
その他	46,138	100,609
流動負債合計	1,360,728	1,746,283
固定負債		
長期借入金	365,500	280,500
繰延税金負債	38,843	35,776
固定負債合計	404,343	316,276
負債合計	1,765,072	2,062,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,525,611	2,596,929
資本剰余金	2,511,471	2,582,789
利益剰余金	△1,711,645	△2,157,579
自己株式	△42	△42
株主資本合計	3,325,394	3,022,097
非支配株主持分	77,567	51,140
純資産合計	3,402,962	3,073,237
負債純資産合計	5,168,034	5,135,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,315,518	3,312,984
売上原価	684,686	985,318
売上総利益	1,630,831	2,327,666
販売費及び一般管理費	1,971,704	2,802,519
営業損失(△)	△340,872	△474,852
営業外収益		
受取利息	16	24
為替差益	1,240	17,299
雑収入	102	2,181
営業外収益合計	1,358	19,505
営業外費用		
支払利息	1,406	4,669
株式交付費	833	9,855
雑損失	302	69
固定資産除却損	—	1,369
営業外費用合計	2,542	15,963
経常損失(△)	△342,056	△471,311
特別利益		
固定資産売却益	638	461
特別利益合計	638	461
税金等調整前四半期純損失(△)	△341,418	△470,849
法人税、住民税及び事業税	2,924	4,578
法人税等調整額	—	△3,066
法人税等合計	2,924	1,512
四半期純損失(△)	△344,342	△472,361
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,743	△26,427
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△341,599	△445,933

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△344,342	△472,361
その他の包括利益		
四半期包括利益	△344,342	△472,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△341,599	△445,933
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,743	△26,427

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる主な変更点として、新規契約時に顧客から支払を受ける初期費用について一時点で売上を計上していましたが、月額の利用料と一体のものとして取り扱い、一定の期間にわたって計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,632千円増加し、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失は、それぞれ1,632千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,141,687	173,830	2,315,518	2,315,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,141,687	173,830	2,315,518	2,315,518
セグメント利益又は損失(△)	△391,443	50,570	△340,872	△340,872

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維

持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「Chatworkセグメント」において、Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、416,552千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	128,407	177,675	306,083	306,083
一定の期間にわたり移転される財	3,006,901	—	3,006,901	3,006,901
顧客との契約から生じる収益	3,135,309	177,675	3,312,984	3,312,984
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,135,309	177,675	3,312,984	3,312,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,135,309	177,675	3,312,984	3,312,984
セグメント利益又は損失(△)	△527,530	52,677	△474,852	△474,852

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のChatworkセグメントの売上高は1,632千円増加し、セグメント損失は1,632千円減少しております。

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入及び当座借越契約、コミットメントライン契約の締結)

当社は、2022年10月19日開催の取締役会において、今後の事業拡大に向けた運転資金等への充当及び財務基盤の安定性向上を目的として、資金の借入及び当座借越契約、コミットメントライン契約の締結を行うことを決議いたしました。当該決議に基づき、2022年10月31日付で株式会社商工組合中央金庫と金銭消費貸借契約を締結し、借入を実行しました。借入及び当座借越契約、コミットメントライン契約の概要は以下のとおりであります。

1. 新規借入

(1)借入先	株式会社商工組合中央金庫
(2)借入金額	500,000千円
(3)借入金利	基準金利＋スプレッド
(4)借入実行日	2022年10月31日
(5)借入期間	3年
(6)担保の有無	無担保無保証

2. 当座借越契約

(1)借入先	株式会社三井住友銀行
(2)借入極度額	200,000千円
(3)借入金利	基準金利＋スプレッド
(4)契約締結日	2022年10月27日
(5)契約期間	2022年11月1日～2023年8月31日
(6)担保の有無	無担保無保証

3. コミットメントライン契約

(1)借入先	株式会社りそな銀行
(2)借入極度額	300,000千円
(3)借入金利	基準金利＋スプレッド
(4)契約締結日	2022年10月27日
(5)契約期間	契約締結日より1年以内
(6)担保の有無	無担保無保証

(7)財務制限条項

①決算期及び四半期における連結の決算短信の貸借対照表に示される現預金の金額が10億円以上であること。

②以下の計算式で算出される金額が0円以上であること。

現預金－{短期借入金＋コマーシャル・ペーパー＋1年以内返済予定の長期借入金＋1年以内償還予定の社債＋同新株予約権付社債(転換社債を含む。)+長期借入金＋社債＋新株予約権付社債(転換社債を含む。)+受取手形割引高(電子記録債権割引高を含む。)}